

すわみつえ通信

No.95 2019年 10月21日(月)

日本共産党鴻巣市会議員

諏訪 三津枝



連絡先 鴻巣市赤見台3-2-7
TEL: 596-9440 FAX: 507-4151
携帯: 080-5039-2785
E-mail: mi-suwa@ezweb.ne.jp
mitsue-suwa@jcom.zaq.ne.jp

WEBで

すわみつえ



ホームページで、すわみつえの政策とお約束をご紹介します。

福祉・教育最優先の街づくり 市民の声を生かし いのちとくらしを守る市政に



埼玉県中央広域事務組合議会が開かれた「埼玉県中央広域消防本部」(鴻巣市箕田) =10月17日

埼玉県中央広域事務組合議会11月定例会報告

鴻巣市・桶川市・北本市の3市により構成され、みずほ斎場と消防業務を行う一部事務組合の定例会議が10月17日(木)に開催されました。すわみつえ議員は鴻巣市選出の組合議員として出席しました。

11月定例会に上程された議案は5件でした。職員給与に関する条例改定と2019年度一般会計と特別会計補正予算、2018年度一般会計と特別会計の決算認定です。審議の結果、全員賛成で可決されました。

台風19号の直後でもあり、被災状況の報告と対応の報告もされました。

一般質問は4名の議員が行い、すわみつえ議員は「消防職員の健康管理について」をメンタルヘルスの面から取り上げました。定例の健康診断で行う「ストレスチェック」の結果と、「惨事ストレス時」の対応を確認しました。

台風19号被災地救援募金

へのご協力ありがとうございます

ございました

引き続き取り組みます



鴻巣駅自由通路で後援会の皆さんと募金活動を行いました=10月18日夕方 (右から2番目) すわみつえ市議員

台風被害の状況が刻々と明らかになり、被災者支援の活動も広域、長期になることが考えられます。

竹田えつ子市議すわみつえ市議は後援会の皆さんと10月18日(金)に鴻巣駅自由通路で夕方の1時間、救援募金の訴えをしました。多くの方が募金に協力して下さい、35,778円が寄せられました。

お預かりした救援募金は、日本共産党中央委員会において、政治活動のための資金と区別し、全額を被災した自治体へお送りします。引き続き取り組んでまいります。

台風19号による幸町での浸水被害の説明を求める

鴻巣西中学校近くに造られた、大間雨水ポンプ場の調整池が溢れて、付近の道路と住宅の多くが浸水しました。2年前の台風の時より浸水の水位が上がり、住民の皆さんは自主避難所の鴻巣高校に避難されました。翌朝も冠水した道路が残る状況の中、家々でガレージや庭に流れついたゴミの片付けに追われていました。

こうしたことから、住民の方と10月15日に市下水道課職員と懇談を行いました。2017年12月議会の一般質問で取り上げたときの答弁では「2018年度には大間4丁目交差点から緑町までの区間で下水道管を太くする工事が完了し、2019年度には大間雨水ポンプ場から鴻巣西中協までの排水路を改修するので排水能力が高まる」ということでしたが、そうはなっていない現状を話しました。早急に対策が必要なことと、今回の浸水に関して市として住民に対する説明会を開くよう申し入れをしました。「検討する」との返事です。引き続き交渉してまいります。

元気な声よ空高く響け!被災地を励ましてくれるはず。どんぐりこ保育園運動会にて。10月20日(日)



毎週朝 駅頭においてホットなニュース「すわみつえ通信」をお届けします。

※ 10月10日(木)~10月27日(日)の間は埼玉県参議院補欠選挙が行われて、ますので駅頭でのお届けはあません。

安保法制の廃止と立憲主義の回復を求める市民連合と5野党・会派の党首が5月29日に合意した「共通政策」は次の通りです。

しんぶん赤旗 8月22日付

市民連合と5野党・会派の「共通政策」

だれもが自分らしく暮らせる明日へ

- ① 安倍政権が進めようとしている憲法「改定」とりわけ第9条「改定」に反対し、改憲発議そのものをさせないために全力を尽くすこと。
- ② 安保法制、共謀罪法など安倍政権が成立させた立憲主義に反する諸法律を廃止すること。
- ③ 膨張する防衛予算、防衛装備について憲法9条の理念に照らして精査し、国民生活の安全という観点から他の政策の財源に振り向けること。
- ④ 沖縄県名護市辺野古における新基地建設を直ちに中止し、環境の回復を行うこと。さらに、普天間基地の早期返還を実現し、撤去を進めること。日米地位協定を改定し、沖縄県民の人権を守ること。また、国の補助金を使った沖縄県下の自治体に対する操作、分断を止めること。
- ⑤ 東アジアにおける平和の創出と非核化の推進のために努力し、日朝平壤宣言に基づき北朝鮮との国交正常化、拉致問題解決、核・ミサイル開発阻止に向けた対話を再開すること。
- ⑥ 福島第一原発事故の検証や、実効性のある避難計画の策定、地元合意などのないままの原発再稼働を認めず、再生可能エネルギーを中心とした新しいエネルギー政策の確立と地域社会再生により、原発ゼロ実現を目指すこと。
- ⑦ 毎月勤労統計調査の虚偽など、行政における情報の操作、捏造（ねつぞう）の全体像を究明するとともに、高度プロフェッショナル制度など虚偽のデータに基づいて作られた法律を廃止すること。
- ⑧ 2019年10月に予定されている消費税率引き上げを中止し、所得、資産、法人の各分野における総合的な税制の公平化を図ること。
- ⑨ この国のすべての子ども、若者が、健やかに育ち、学び、働くことを可能とするための保育、教育、雇用に関する予算を飛躍的に拡充すること。
- ⑩ 地域間の大きな格差を是正しつつ最低賃金「1500円」を目指し、8時間働けば暮らせる働くルールを実現し、生活を底上げする経済、社会保障政策を確立し、貧困・格差を解消すること。また、これから家族を形成しようとする若い人々が安心して生活できるように公営住宅を拡充すること。
- ⑪ LGBTsに対する差別解消施策、女性に対する雇用差別や賃金格差を撤廃し、選択的夫婦別姓や議員間男女同数化（パリテ）を実現すること。
- ⑫ 森友学園・加計学園及び南スーダン日報隠蔽（いんぺい）の疑惑を徹底究明し、透明性が高く公平な行政を確立すること。幹部公務員の人事に対する内閣の関与の仕方を点検し、内閣人事局の在り方を再検討すること。
- ⑬ 国民の知る権利を確保するという観点から、報道の自由を徹底するため、放送事業者の監督を総務省から切り離し、独立行政委員会で行う新たな放送法制を構築すること。

インタビュー 野党連合政権への道



しんぶん赤旗 日曜版 10月13日号

各界の方に野党連合政権についての
思いを聞く「インタビューシリーズ」
野党連合政権への道。第2回は、元朝日
新聞政治部次長の脇正太郎さんです。

わき・しょうたろう＝1954年神奈川県生まれ。早稲田大学卒。時事通信社を経て、89年朝日新聞社入社。社会部次長、政治部次長、電子電波メディア局次長など歴任し、2014年退職。現在「メディアウオッチ100」に参画

「共産党と協力は当然」 連合幹部の言に驚いた

私が現役記者時代には当たり前のように「共産党を除く野党連合党…」という言葉が使われていました。しかしいまは、ほとんど使われなくなりました。

2016年と19年の参院選1人区での野党共闘は、画期的なことです。他の野党のなかの共産党への期待感は「対立候補を立ててくれるな」から「応援してほしい」としベルが上がりつづけている。信頼感が生まれているからです。

連合にも変化の兆しがあります。ある幹部から「志位（和夫・日本共産党委員長）さんの野党連合政権の提案を何回も読み返した。自民党に勝つためには、共産党と協力するのは当然だ」と言われ、驚きました。この人は「何十年、何百年先の共産主義、社会主義がいいか悪いかの問題ではなく、目の前の自民政権をどうするのかの問題なのだ」と指摘しました。

次の総選挙では政権構想が問われます。野党が勝つためにはありとあらゆる力を総動員しなくてはなりません。現在の枠にとどまっています。十分ではありません。

野党と「市民連合」との13項目の政策合意はさらに発展させないといけません。安倍首相のいう「全世代型社会保障」への全面的な対案も必要です。消費税や法人税をどうするか。財源も含めて一致できれば素晴らしい。9条を生かす立憲主義、法治主義の回復も大事です。アベノミクスが崩壊するなか、経済対策も急務です。

7月の参院選での野党共闘の対応は遅すぎました。勝利し、政権交代を実現するためには、まずは政権問題、衆院選の選挙区調整などを今から協議する必要があります。